Ø

を受け

た保定

ħ

路を断たれた

佐長坂西、石里成角院によってが、戦弱が開始されたが、敦は我が軍

【雖出版十七日同盟】 級明級市學

躍進猛進 〇〇に向ふ

用列車は袋の鼠

乗点で 空軍 某部隊長は語る

【東京電話】十七日早前海軍者に

上海方面狀況

制運中のところ本十二日末明家 こう)で形は受肝) 第二十二時前他河を第千団交往型に移り の渡河により 製路を新たり 房山随近の我部隊石樓村占領 敞に大損害を與る

(予) (特別まで) 「教育に、選挙、昨年に正常方面に思った練歌は役、めた深い安逸を聞いて獨々除酬繁(中 汉人時過ぎには方浦瀬と報店(上上学上自同盟生会集)会議等「激烈な夜楽戦が原因され、立ちこ)

**俊馨を衝いて銃砲聲轟く** 

|南部院は世に一歩飛進〇〇に | の更けるに連れて益々な歴となり | 比電線 | 帯を敷送して攻撃が行は | 【上海十七月同盟】今頭五時記

司克爾路棋界線近くの間北地區の

、蜘蛛の子を試してが如く。同一時十五分頃より剛隆も加はり一れてゐる

有名なる古戦場

統一と月に買つて市城城域、船も海布天里をして歴を投げさせた有名な壁間なが戦場である。我県軍の飛騨の間には

21日と元ブラ 戦・十六日年後半記録に独川を続いて現方に非説書、人もなく滅は「水流十六日同盟」十五日継等金「丁した」「変元した日本のでは、100円のでは

南方に関係を置い、水清を隔たる 二軒の地質に方回を薄じ櫛獅交兄

全に沈黙せしめた、この範囲にお

南方に脚端を流に、水流を縮たる「多那小般三音間重にしてこれを流」を定期的に公表してをり、十六月電路線に突縮を組織しつ、武俊進行」ので、我常はこれに震感的に反應「常音化・好性前に質でこれつ内容・形態は完成に水准可を渡っての「策範附近に駆然に逃襲」外たつた「ワシントン十六月同盟」来例を「膵臓は高度に水准可を渡っての

今暁江灣方面に

無刑と呼ばれた、減州域の域型は用の景楽単代の限治である、附近には水準数池に真宝の果敢な難論によって書館」と次治は、「凸 成鬼の野で、元に至つて書館」と次治は、「凸 成鬼の野で、元に至つて

黑及び坂西兩部隊は涿州を占據せり、平漢線方面の敵は目下退却中【天津十七日同盟至急報】天津軍司令部午前九時發表==今朝我が石

黑及び坂西南部

日同盟」支那向けベラン

政府を代表して言葉商目が川曜子で開かれる國民精神網が飛大館に

向部合がつき次第

中南三方面の概

医前脳の〇〇、和切両部隊は十

として猛烈な同志記が行はれ、剛一され、地理不

整は殿三十分に亘り場々県り舞き一ため腰を同士詞をやってから

連動の指導分擔

ハル長官の訓示内容

欲せず

频疾患治療

と豫防禁

聯盟の協議に いて銀帯があり、小時四十

【華府十六日本社特電】 長官語る

紛争以理に米國か如何 質見に並て次の 元は随る電大 日に北長的

小にオブザーニー に参加することは 人間遺處理に関す だいが、米周と間の近角

令(批)

工造 及) 本所記官 後間 他 增于

藥毒消傷

副作用なし實に强力なる理し、場合の殺菌力を有し併もし、場合の殺菌力を有し併もがロール等の强殺菌薬に比がロール等の強殺菌薬に比

想的殺菌薬なり 適應

症

、大膓加答兒の特効茶緑便。大膓菌性膀胱加疫痢。膓チブスの初期

金質 本所可数は ψ

[11] 改排 小野中 山部。春 砸 假 定 答赤膓 合兒。下痢。大膓にが痢。小兒綠便。 との 投痢。

新發賣 小 兒

用

一向 司 不 金宝面五拾钱 一同 生磅人 金十四五十钱 一 **船割五十入 金八 十 鐵** 

龍衣丸 金壹鷹

本府司税官

支決戰迫 信五學院九九節 南信堂新藥部

# 支那向軍需品

こて待避線に入れ、川村宮師を招たので宮土駅に「毎県」僧を町郷 会は途中威等のため中で翻居し 際問題情に赴き無常が過十一

五、二十六日郷大阪中之島公部館、内閣訓令家を秩定し、次いで二十 殿におけるコーマ学芸一に関す

十六日 同盟一支那億行代 十九年 十五子京城の着州県で帰版の昭(サンベトロ(カリフオルニヤ州) 社、河州等を辿り仕に日午後七藤

に迫る! 日本は何う戰ふか!ける最後的の大決戰は今や目睫線一帯 大會戦と上海附近に於戰線實に五十里に亘る北支隴海

天地玄黄 世日傳入城 世日傳入城 十七日來赴

1、本上六日原田原治原は部が、 一時痕表はチャへル、河北、山南の 一時痕表はチャへル、河北、山南の のでは、山南の のでは、山南の

支那内部の質問日に日に注意

者席出

話は重大化が 米て北支戦級の 心態反抗向血

相を捉へて諸君の机邊に侍せんとして覺悟」は今や悉ゆる角度から事變の眞文≍察秋第二臨時增刊「戰爭と我等の

や」確固たる決意と不動の自信を得ん とする者は讀め!!(京所學習園附)

ゐる「我等この時代を如何に生くべき

音五十事の戦略手幣がなられ

前階度退の日道陸至の職際全く 戦退の加速度増

雅名设置古。 **にしても**関民政

十九日夜發で

刊四頁 安くて 書きよい

和東方郊外にある天河飛行

提訴を移牒 韶問委員會に

猛烈な空中戦









祭は質素に

文までは行び山のでせめて京城ま

奬忠壇で大暴れ

海ノ鄉 〇〇九山本京聖長以山

**桃屋の桃とびわの謎** 

した部間が判り更に係重原行の

皿氣の防護團員らが追撃

·第二為曹、京應、京即、菲爾、光伊門 古馬客禮訓の精製一千二百、両祖は松永 第一為曹、消寶、京王、京城、朝山、丁 《祖は柏顧少位を大脉長に京師、東中、

文職級も同い以形別さて郷嬰けられて京城 は極端に持
は十八日午前八時中次の甘恵京

十二生産活動を残る、これには際でも総ジ山を整備開発にか戦災のが一種を機構させら自己職に総つて保護ラクバと城に中間線の内向の汽車を挟んで東西より出続な運営機を続じ、北文県

、成道級生国最トンネル北入口 3から 日本の同葉に土田田県あり、一時間を通じたったが十七日 14年 7月 1度度 1-1 たったが十七日 14年 7月 1度度 1-1 たったが十七日 14年 7月 1度度 1-1 たったが十七日 14年 7月 1度度 1-1 たったが 1-1 によったが 1-1 によったが

際語書の疑問としては 南鉄は丹江銀路局では網路局の日

登時何鏡塚、野神殿の一分隊が参加し三越、三中井斉貴副から同じく一千三

白字町でお答大大作員下名数の明内時日が持衛、繁華縣に留る

(つた) 集合、羅南問藝備市話不通と

四版代、自毎原本、身分面明書は「低に上面個を解説、俳媚と春を眠」た、入月十二日収入吸の資が原味 特徴を含、資政、教会者の推 出時所の金庫を知ってわらのを含、後一ケ月目により、開発 方くは野宝官の回読あり、開発 方くは野宝官の回読あり、開発 がはよの相談に堪じられたこと。原味長谷山町一二・都木製加豆城 ました間面観謝観光するにか行 特殊者、漢文、殊然質の削離者 等で)は、海低機能大

文那戦線をその儘に

繰展げる軍國繪卷

府内中等學校、青訓の健兒二千餘名

日本人巡長を

満洲で募集

拐帶の外にも

入きな犯罪潜むか

全國に手配中の横領倉計係

一ヶ月目に満洲國

お縄

る二十三日から明治師宮ブール

日付夕刊銀三面に摂版されてゐる 国を支給されるが詳細は水紙十六

特してをり『私を助けると思って特してをり『私を助けると思って、正規構べたところ京城駅原耐火九

飯里、往十里間網路上にマントを

一十分時のラギオ

線路枕の青年 マントを被つて

**世自教を圖らんとしたもの・物財・吃願するなど、秋風に揚ばれて版**鑑路で死なせて下さい。と修道に

後十時廿分二ス原元級水一

壯烈、龍山原頭で聯合演習

派手な行事は見合せよ

内務局長から各道へお布令

議人士に開発の深い大有高陸

大石隊長から

上の如きものであって、行

の主旨の通牒を称した。 発に直を確ひさこれ事

三台を購入

皇軍慰問金を携へ 生れて初の京城入

成北蒙雨

の生化、就学之の他は金」な原北宗東郡陽林朔山書院代表李 半島橋林界の最大機域として有名 歳し、織の塔、か、政然とし 院と話打ち生れて初めて作事に来 頭に進出、三 ら人は支那事要財富

火車の地を殴れたこともない人。「都を辿り、「自興を献金しその品で、 部門出発金重要(\*5)8三氏は途楽 | 半點の直影原域へ現れ優難能愛國 沙・原田した、現在まで制労せる。 わや歴史した東西の町交流の舞台 に漫水、道雷勇敢、交通比納等に 市場地 シーカンの大阪大阪大口から に漫水、道雷勇敢、交通比納等に 市場地 シーカンに突然公職入口から 「高層電話」十六日夜来の間は十一夜巻きにした足のの一段では第2

「極く間がに行い、明年度か 今年は時間附更なるの諸儀 が高時間に流し半島の蓬馬改良増 | 十月三日迄(十八、十九、廿三、廿 | ゆる方法をつくして來たが、更献金に、電馬の畝納に、その他あ へ場料を獻納

あすから京城秋競馬

項の輝けるシンボルとして新 支配や二国五千人勝道家族の

何ほ今回の競馬出場登録馬は二々戦的することへなった

管制の程度きまる

二十二日午後六時から實施

軍馬の時間順に軍事後援同盟に大此八日間の入路線を那を県軍及び 東大門外所設可能設施温で開催。 五、世六、十月一、二、三日)八日間

情婦と朝鮮へ高飛

する怪少年

外出から融つた被害者の大なが建っているのを受され押入内に押込められ衣取計 校郷師錦木久衣郎(た)と称する男」の題語みつ(な)さん方に提出は門里 査したところ議節とは真つ赤な壁 ろみつさんが日本宇観と革観で彼 | 福に入れ ||これは町館の命令だ機位の少年が10円を敵章・世紀 を降した。あとでかくと際知 - 買はおばなりません」と「問

北支に、中支に、南支に皇軍の管際の火盗は能々な烈に器度支那を打きつけつ、毎日戦時の報に

半島銃後人の献金

〜上脚掛けて産に朝鮮軍空國部に驱まつた愛國배金辭は粉三ヶ月の去る十五日までに百二爵の緊張と終え上三を図の赤蔵は邪忍罪久のセクトーの下に会学島を疑って献金は後

(八) 監禁題はきものは前地で 其二、特殊燈火、火焰

要地院衛司令部では指導管は一、一般燈火

九圏五十建に及んだ、これが内容は朝鮮防学器が豊日六十三萬九十三百

【今晚】時一時

盤牌

熊明

平置

商

#1

ĸ

油 密封ベアリング附の減らない 各 型 錄 進 星…馬力在庫豐富















意 隨 院 八 磷醇花溴亚治明城东 三世八三九電

高血壓腦血溢中風 酒と…なぜ 悪い

液が濁り循環が悪くなる

型切れ・前々痛み・便秘・手足・微)、 財配の解釈も治コ、 鰹の間型切れ・前々痛み・便秘・手足・微)、 財配の解釈も治コ、 鰹の間型切れ・前々痛み・便秘・手足・微)、 財配の解釈も治コ、 鰹の間に かってり 一月こり・中鳴り・頭爪・のほせ 一を徐く。このコンの作用によって、肩こり・中鳴り・頭爪・のぼせ 一を徐く。このコンの作用によって、

お茶は一番五清元園

1/27/ 元呎城京 ンテ西中 市八四八三本市 にこのニー以前代

皇成若草町楠本吉太郎氏は先世朝一 病院自動車

の別されのか削戻が示されませる。出一斉全に加ては変的に着軽数目動車。 むこが、既にあるもので子供銀版、無単に一高回を献金したがこれを

城頭)とい名以を終り直に職職に 受民主十六明 (植木駅) 愛國軍士

後は結束して阿銀推進に與つて世界上制の下に聖戒に従ぶ、鋭い子軍法宮旺盛、全日本は十七日原城の別人宛

事・治安の職隊に 排に務めてみるが

前一取られた珍。昨は大磯に行きごった。この猪魚の仁田四郎に一巻った庭を昆療に、豊良されたが

**の前の作製に射器「膨燃炎脈に現れたものと行つたが、そとビーンと手!!!** 

りでなく他にも原外な似行ががにも多常の機能の事質がある。

置つた形跡があるので川地き以

郷マサエをはじめ山本産業も 約果が外にも牧の似行の裏には

首尾よく討ち取る

億か十分間に悪化町と明倫町 てふると世五歳位の男が 町十時十分ごろ京城河南町五井 スピード詐欺

風十万鏡だけ一寸貸してくれる 四重度が方まで聞けてくれる その中の二十東京け級化町七

中間一手段にひつからり三國五 こが明倫町一の五六で野魚行

時局を惡用

洋級家 鐵 防京 唧竹 家 具 裝 伸 品事務用品一式製 保 管 車衛 及消火具作人 製金車 品

目 金庫

御下命の程伏して御頼中店同樣各出張所を卸利用出張所附近のお方は京城 竹內製 

ing in the second of the second in the seco

泉

(カ タ ログ 進 星)

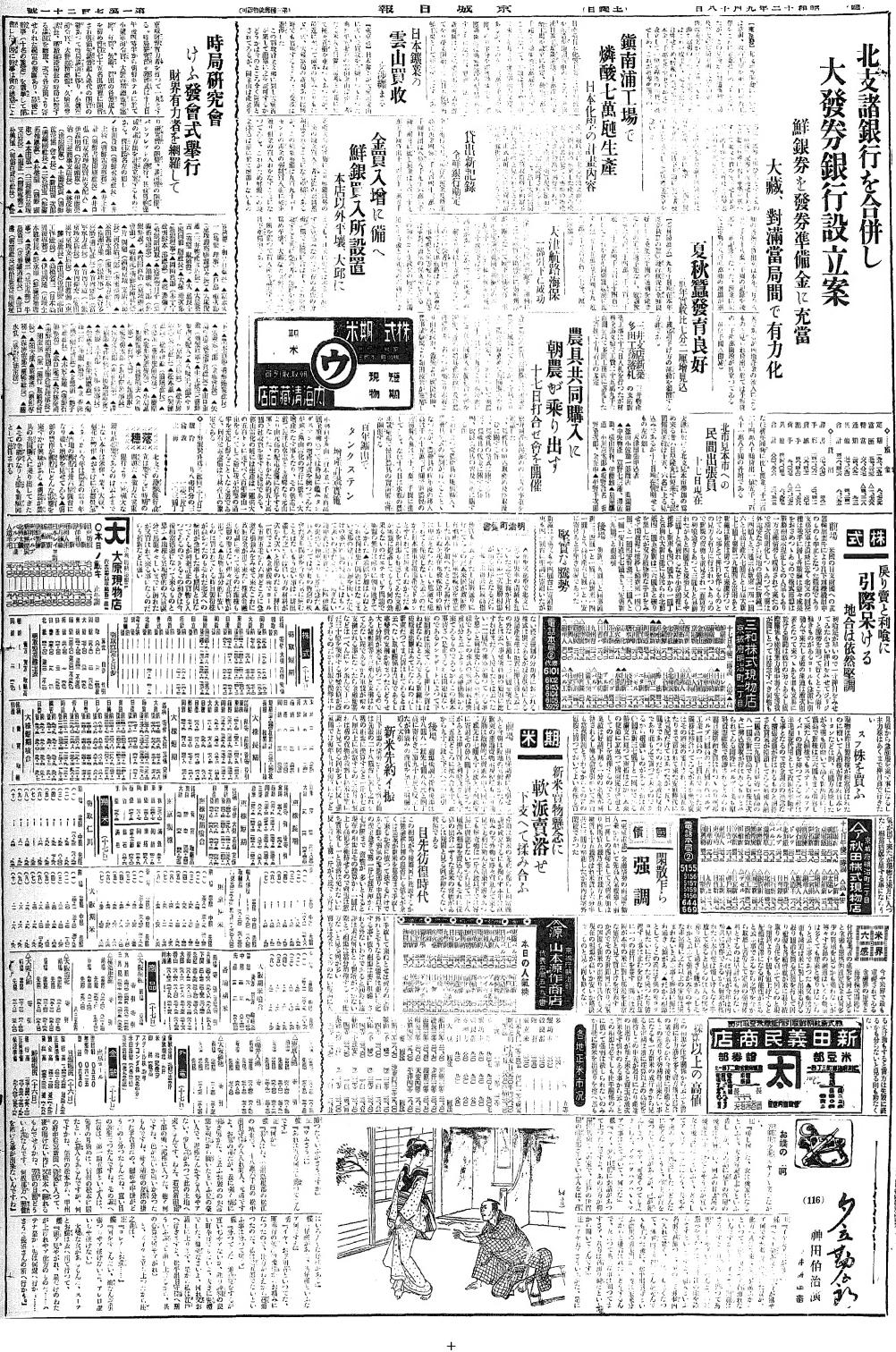
一一一 · 饭 新

盤出 熊本

平町 商店釜山 商 番

店清津 最高(2) 電話 **福**商 出張 0 次 九 番







敵の死傷 は三千名

北平十七日同盟 軍司令部平後

一、深州平野の宮殿に於て大打祭一一時二十五分配表

列川観報、承州東方にては火炎」 撃には、列車ありにても三千を下らず 一、「西郷銀際には役車三・鴨奈州」、「西郷銀際には役車三・鴨奈州」を建し且下大部建

涿州占領は

我が包囲下に陥れた極州部職に於一田、野町地両都隊長は固く決感し して南下する廊の道路を完全に断ったよるものである。琉璃河渡河を「太流の気中別心、花中別心と「聖」 で琉璃河塚州の敵軍十萬を完全に一敢行して後に入るや月明の中を馬 【北平十六日回四】 平遠線を延断。 東部院の合作による進兵隊の活施。 挺身隊の大偉勳

大変が明って大田 し概をして用ける。 開定いの別路を 乗りをな 郷道を 機幅に売りの波線が 門の面への部分

然職保せんとうる印度付や出鉄

温度に抵抗を

近野内対象、スペインとの概を が関内対象、スペインとの概を **全**原

四十分離局入職の動新宮崎鬼にて即成骸を推荐して十七月午後二時 部中早崎師館群は路は二名と共に十年の歴史も永さ中に中村歴史総 ける転離だる保証は脱球院及び階、現れを事と認河を決行、途中明常、をは念せしたらに将来るも思うに関すた時代の関係が、は、中の共同省の長行、後のは、これのはない。 【油戶電話】 歐果體領事館開設五 明午後八時五十五分三宮野部列 反蔣、共產分子 スペイン化を狙ふ

**甲村廣東總領事語** 

Ó

|権限を遺棄して支護院型となり|| 退却中・敵の死傷は小漢類のみ||中にて左の如く語るを受けた敵は多数の実際策略は、「生漢動西方の敵は西北方に向ひ||耳にて其ずしまりは 中にて東上したが中村の間がはい

發見直に急降下ー敵高射砲の猛烈な齊射の中を物ともせず之に爆撃を加へて多大の損害を則へ体動を表 【上海十七日同盟】我が陸軍航空隊の少年航空兵川上陸男君は愛機を操縦して十七日午前八時五十分僚機 **ミ共に驀定、劉家鎮の爆撃に向ふ途中羅店鎭南方附近で敵の主力部隊が我が軍に砲撃を加へてゐるのを** 維占鎭南方で敵主力を猛爆

地の領土の様とのは、いまっては、いまっては、いまっては、いまっては、いまってからない。これでは、いまってからない。のは、いまっては、いまっては、いまっては、いまっては、いまっては、いまっては、いまっては、

No.

及び土地の傷の「小様か・事士」

The state of the s

た、今回で行ぎるる部分は遊戲

日の制御で有の信行概令和を決定の一部を信行することに決定士し

明維整時間なにもが行うることに 第四 等時間のに

マツ畑の血がを正し

海時間高に脚でる賃仰を

軽い脳貧血西園寺公は

職(と悪)不、既、頭、 悪、ス 意、服、症、痛、 悪、テ 乗、り 盤、仮。耳、遊。 要、1 伝、私。鳴、上。

B

爆

彈

投

F

【平漢戰線】 菱刈同盟特派員【薆刈大將令息】撮影——電送航空便

孫連仲軍今や袋の鼠

城

# 敞機撃破實に二百五機

「東京北門 育園・公の窓際について現に取れておして明一年前十一時 北海岬、東京市において明中で出 天を建つたが。同じ連貫を配したの 三川 付替師の総章手部を受けて後 光海岬、東海町において明中で出 大夕間に直っに観眺市赤 十字爆撃の由行副売長の来诊を実 りつの裁集で置いて明明で出

を排除して

尊き機性の戦死傷は一千十四名

その他兵器廠、火藥庫、砲台、兵五機) にして外に格納庫三十四棟今日までの處二〇五機(中駆墜九今日までの處二〇五機(中駆墜九於で駆破せる支那軍の飛行機數は於一級大事變勢超以來我が海軍に を起し壯烈なる最期を遂げたり、の際一機は敵防禦砲火のため火災 カ日午後一時半時間有了鎮南西方 敵陣空 無受とに参大の機能を興くたり(二) そかつし 新聞 気が 他歌は上海方面の陸崎部職を加くつくあつたが 単十分の後間 航空

ず之に何効なる機能を取得し指摘の悪火膜にも拘ら 七四五殿東天河地行掘を全 既の〇〇辰は昨十六日子後 時二十分所 日副官 一)我们CO加加加索路

小機構的即一種及び長舎

第三坂西部隊は十六日夜祖場向の線を繋収し河ばに據る戦化に関連、微統三藤間の後、戦の一部は遠に投が「東文に握へかれて南方に領土、数の統法性、明古後間 |孫連伸軍凡そ四萬は完全に包圍されるに至り我が石井、坂西、森田各部はは之を包圍殲滅熊勢をどりつよあ。||宋連伸軍凡そ四萬は完全に包圍されるに至り我が石井、坂西、森田各部はは之を包圍殲滅熊勢をどりつよあ

全滅は時の問題「平漢戦線」

海に陸に

用意の小型爆弾を

た〇〇時は十七日側系統が總別れ たり臨所に急ば戦が原開される ・遠に田動命令に接し各形士は男

胡宗南軍第

師を撃退

〇橋は揺臨及び瀬州を卒襲したの軍事施設を爆撃し間、起きしめたり、な代外に〇川

機上から投げつける

以てする個職能に多敗丁上の提「小洋野峡の攻撃に上海路上開線に於ては一ヶ月で、川南り並月〇〇概を 結果之が支那四部に及ぼす効果は耐火混割さを加 於てけ推圻縣孤洋艦二窓を勝積歩戯せしめたる外沿け橋子江上に於て蘇畷喰日と熊成し既に関東部外に 三にして機船には何等の は戦死傷一千十四名、飛行機二十ついたり、この間を通じて我軍の犠牲 より、三種軍に異へた損害は英人なり、また我が暗曝 舎、建築物の破壊十数件に上り型に 標要地を占領し支那船舶の航行を確實に遮断したる

人

種類のみの

健康がある。

有する時

上上日午後成行

修で語域

を開いま、もうでのうらに決まりました。 かし、水を同げると「うんにやか」、水を同げると「うんにやまりました。 とゆったりとして例のない間を 笑つてみる ともなし 地快定一頭

ものがあつたが我が田上、石井兩部隊の果敢な反撃により十七日未明に至り多大の打撃を受けて遂に退却した翌のの歌に置し蘇武率と大震撃を改行。来りた流石支那軍中に於て鐵軍を誇る胡宗南第一師だけにその逆襲捩りも侮り雖き【上海十七日同盟】鼻縁戦闘の臨は十四日海系勝敗十四を急渡りりりに滅世さい場合歌、集後的直には十年戦火を引来り退に落中、時空も

\*

母.

廚

中島の昭何に余力を原倒し、更に、するなと語復なる語動を関いてあ、他出し解復祭軍と提演し日夜山東、を歴史し担々たる東田済路を完成 本市の台で採まれて、今度の別地程ではまれてある大島さんだが、別れたもんだ▲税地決定で献まれてある大島さんだが、別れたもんだ▲税地決定で配設つてある地元の連中も定で配設つてある地元の連中も定で配設つてある地元の連中もでで決定するとのは、(製成は大島世紀) 社長)

海岸線に沿ってトーテカ電景など

那須部隊〇〇~

「上級十七月同盟」十六日長銀に、日午初入。前職、世面京で東下春上戦を了へた戦略が進度が出土土一を曹操しるこのでなり、

COCにて村山川面芸派員十七日、登一山東方町上りの歴史の信息に、よれば中央観光大学開ル練覧方に 東の中央軍 着々軍備を固む

○○將士は梁め操縦席 失した戦場であるが機関的銃の数らす組く四般、空全に戦闘を襲 は全く膨脹機能に陥り蜘蛛の子を して探測な地上援射を加へた、敵 中の敵都隊に對し地上部隊と協力 担動深州トリ栄輸一帯に取り没走が午前九時宇和前後して第一談に

目ざましかつた沫縣の爆撃

### 九月十六日取扱 (敬稱を省略) 計金 三十九圓六十二六二豆城敦育事業並 六萬四千四

朝鮮防空器材献金

京城府新京町 二十四周四十八銭也

夕刊後の市况

H

医定刻印付の品なり)最級、スペス

どの人はこ

(ロの二) (三十個限り) 地型十五賀石入マル十五年保証付 金質保證) 潜祉定復三十五國の品 大特徴中 十 三 圏 に投資す

(ロの三) (三十個限り) 切子製型十五度石入以十五年保證 (金質保證)當社定復四十五個の品 大特質中 十五 園 に投資す

側國産

(トの三) (三十個型り) ナス 大部長角型十五石人3計年明显 側 産 類は定領四十五回の品を は物典・十 大 国 に投資す

東京

市杉

並區荻窪一

械

に投資す に投資す

人は

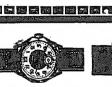
三十九圓六十六錢也

(への四) (三十個限り) 丸八型婦人用十五夜石入ぶ 二十年保護書件 智能定領四十個の品を

目覺 禁証を収一日間の品を 時

连进

夜光時計丸變型九型半十五石入及 三十年保證 協社定價三十五四を 大特費中九 園 五 十 銭 に投資す



(イの八番)(二十個際り)婦人用 扱小雙型原刻付大型半十五石入び 二十年保証 営計定項四十四の品 大特質中 十 二 圏 に投資す

智社定價 大特實中 六 图

(40か) (二十個限り) 最優秀モリス 九型十五石デル 四十年保証 智証定原四十三面を 大統章中 十 三 闘 に投資す

指

Ø

寸 法

お中込下さい。

誕生石入

金 指 輪 衆変遺幣局秘定

(4の大) 五型部人用(竹棚配) 白宮石弦節付け十五石十五年保證 寄社定復四十五風の品 大統領中 十五國 に投資す

新變型九型华十石产

置石人 プラチナ指輪

十五年保證

慄へてゐたのを我

枚御一名限り 31

(イの二番) (五十円限り) 新髪型十型支七石は十年保証付 営社定復十三個の品を 大料資中 四個五十銀に投資

クローム側

内でも賣切の節は御

質處分臨時奉仕として向ふ左の堅牢正確無比の時計流 お手紙の中へ上記刷込の大 間内にお申越の方に限

の宿舎に

號は漸く出帆 ゼフアーソ

ヤトル十八日同盟」マ





























































































主婦の心構

近東海岸の特、出手候補關仲二氏から第二十物國野特少佐に宛てこの傑一面の背險が では、少しの何封していても、これは蜿蜒を知っ線声器の文字ではつてみた、後方動物で、少しの何封していても、これは蜿蜒を知っ線声器の文字ではつてみた、後方動物

ませんので、二人分の心能を致し

てくれますように只々心に念じ、

神に前ってペンをおきます

Œ

Ħ 節約

「「一」、「お、「は寒さに何」「國」「産師を代用させ、用来得」(3)、ベルブには製鉱用と人創から、さん、「最も肉を、方がありますが此の数に吹っべく「腹いものですがからりません。」には、一般の場合で、「 腹いものです れば木織のものを用って花の器館。用とありますが、技國の生産増加。 するに越した事はありません

得豊節数とはそんなものではあり

式を電源は戦府自に第一戦に立つ品物の消費を削救して下さいと

事變に影響された

流

人手袋

い様思ひます、其の他のことも 同日照たどの外出は除りに勿酷な 水質り、食気りなどよりませんよ 在分の働きを得って肝ります。



過ぎるのなしと異んで居ります。一部が一にも緊張を観る策略に

せてあります。二人共召集を受け

がピリノーして腐れ出すといふ」。まったアといふことが分し、それと一言語間侵より踏みした部分

数下せられた掲録などは非常に困

製」将に関鍵に発生の傾がとつく「で作った網帯の「のよれれた」 離骨が依――井戸の中にガスが人物でから、地方のでは、できっては、これ「質問」、 井戸の職はどんだやら地方の学位。 それはわけはふりま いやうに水をかけたな」は、これ「質問」、 井戸の職はどんだやらかと見かけ、方法は……

質問の合の

焼夷弾が落ちた時の應急處置

毒瓦斯と飲料井戸の消毒

|質問| | 名 た郷が観売頭が何||(水を持つて行つ・火に掛ったい。するのに寒風所と思うて頂をつけ。 | カー・これを持って行っ・火に掛ったい。するのは寒風所と思うて頂をつけ。|

六段 飯塚動一郎

開秋の眸明 痛み易き瞳も近 の光を與

劑療治科眼るな快明



健かなる輝

つキングに外

ません!

る防衞が、是て、眼科藥スに起る眼の疲い起る眼の疲いない。

鏡五十四。錢五十二。價藥

. 但附置主 1000

店理代總

ると共に一般同民精神の歴史と中景樹 産業機関の活動を積極的な、しむ 力等適山村民衆の指導におり各種 また聞る大なるものがあるのでこ

### |川の傳染病發生 一年は新記録

やうやく下火にはなつたが

## 防疫に大童の宣傳

[1] 町柴間の少いのを自侵に「で運に陣界を催化」、田廟物を配しれ前科五記金冊書。『といふれつ

赤脚、蛇師売春の謎生は高鉄館。身する建設等に売りを注いである。城市家廳校生能率が行の夢田記入てゐた仁川も今年よ常に担はれ「市し不認備所の静欲、窓銭密後に」さで同日朝も上门川郷符合報で京 り絶を失敬した尚禮常習の大物と

てあるが最朝繁を展開せれるの、「また下水道の「透原がなくその「下」図域でも企園されてある。ので大い響脈飛燈駅に大竜の勢力をつては「や大瀬峡の途下にある場割的には「なつたが、今年は北支方前」の商 型を発展する。 の一として来らす方式、じの限日 で見本市を開催すること、 の一として来らす方式、じの限日 水も不完全で、消水酸々これが連 【八川】商工商添加でお年中行事

あるので、「川圏では各衛生祖

連絡を照にし、明後に、世界

止めて十六日現在九十茂名に夏

-名に違したが、その役割く略

急闘工力を戦器局に随情してきた

簡保相談所

仁川の見本市 本月一杯で一萬人を奨励する以込【清州】郵便局の確保加入者設け

に最表あらしむべく心間を進めて一隆を壁動すべく郡下発頭にヘアリーに現場にかけつけ調査した

若、東京川の四ヶ所で一斉に明 ら欧國共同販賣を金行、流域府

加七十六銭、二等二頭四十六銭 ・一等二頭七十八銭、甲等二 ・一等二頭七十八銭、甲等二 ・一等二頭十十八銭、甲等二 ・一等二 楊州の秋繭

囚人の喧嘩

仁川の行事

激時研館開端式に関うた験群な選(受けつける) 西三及び衛州部地職役将士の招強 仁川」南州事製記念日の十八日

樂學の構威者

粗食でもよ

【開城】城大穀穀松原博士の案内 たい適任者ごうる 事賣局に とり

九十錢万約く央販崎成の1位、原子北、歐川經自油相著、城資局、水に上上前局板は米競(用趣に先り関語の土玉園四十天長に北、原子北、歐川經自油相著、城資局、水に上上前局板は米競(用趣に先水)が、東京の開發局接として 

は関節的で こうようちょうしょ できると マース・エース・エース・エース (一) 現状の (一) として (一) のであらうから、たと、「気管は (一) のである。 だけ、(一) のであらうから、たと、「気管は (一) のであらうから、たと、「気管は (一) のであらうから、たと、「気管は (一) のであらうから、たと、「気管は (一) のであらうから、たと、「気管は (一) のであらうから、たと、「気管は (一) のでは (一 どに興へてみると、乾穀を良くし

感覚する、さして田で青山部状

### 大日帰用を助き自然動物と極地は一つたが清州建設支配養機事に直し、同政能が、國統総治式を完全でも、好小然一本二十数是三一般の要求、「国州)都農園田作品では金艶の「入は重傷、一入は銀光の重心を行く終って勇まをすまし神祇に豪邦、「寒仏、一小族一本五十数仏、徐淑・後服上地皇生地と助」。 過ばして三人の同館に振りつけこ。川东岸弘郎で北郷左側略翼を行った、総内群高駅に上れて一本五十五条地に、 大口「古書を正任下り」 の内一人が観視を作業申具を振り、復順、十八月年前の時知に無心、かけを用途すっそうらだに呼びかみなので楽生度には前部健康自認、理解所内作業績で作業中の個人四、十七月午後の昨から十八月午前の「暗心と川」で乗れた防衛版本節で入身一杯で「高人を受賞する時点」「活躍」十五月午後「咳咳、汗料」に高智さは気候を絶った。「寒心・咳咳・肝・て寒れた防寒脈な節で水上、一角ので水上の一角ので水上の一角ので水上の一角ので水上の一角ので水上の一角ので、水上の一角ので、水上の一角ので、水上の一角の | と野州器はが複雑し取載べたとこ。| 七大| | 「監判】会る土地自住中郷領市協議に指定されこの署が複雑し取載べたとこ。| した | 「監判】会る土地自住中郷領市協議 版例報報器に指定されこの署点域 の海洋原記を示って 東空気候制に関係を持定されるの署点域 の海洋原記を示って 東空気候制に関係していまい。| 「監判】会 ターにあ 4、八倍の流統所で地比や郷 |動したが、これによつて線神が下||中心門に鍛み廻り五線だけ自由|| 跳縞野流校長、犬荒道衛生池(して)||一百六十七前歩に揺神を髪(起が依要)とで高城を中心に自動・絵画列末地七及た総治府川阜のしてか、これによつて線神が下||中の観光地上及た総治が川阜の地上で、東京衛生の地上です。 同僚三人を斬り 何れも重傷を負ふ 所保模範部落 [5]州] の排から一朝学芸を受けた場合家 一般に發音 地へた胃は でんな栄養分がいのも栄養分がい のも栄養分がい のもで表分がい のもで表分がい のもで表がい のもで表がい のもで表がい のもで表がい るからである

生業報國の進軍

路を録画したので上水町駅散と

めたがその甲要なく、低生施設の

(無別となつてきた水政修に関す。) 内民の

掏摸つた瞬 間に御用

が十四日前一員目標主きか。出た「元山」趺の味発の王松茸の走り

【補理】単天町きで南年にない下

全は早天町きのため関系の観5. 住の北部名魔治療松青に陸門技無

不良で大関位が限制され、從つて一のため非常に既在脱地にて十五年

一を極め、質量では必死の時度に受けずスその他の嫌疑無が弱の危険に含かされてもたところ 元だに實現せ十四段は常に衛生

秋の味覺界寂寥

やつと走りは出ました

今年の松茸は不作

金額の多少に拘はらず 心からの献金を!

重大時局を正しく認識させ

愛國赤誠の結晶

忠北道民の献金 十一萬五千圓近し

日部落一斉に左記の行事を行ふっ 來る二十三日の『農山庶民報

国防炎、東京が旧金の献金、軍事の金融は約割十一萬四千九百四 【清州】 陳朝の如く支那事螳勁路| 最多の彩源性門も概込まれてゐる

般制下に無限の常型を約束せられ

の資館を駆じてむら今日、徹底職、復権職と保護証拠を目的によると、に小婆與同院院を連続させ、問題信仰のため冷慰提所とも多大。「清僧」思北岸殿館では熙成の利二月十日寺より各仏院館をして、 **尿日ニユース映畵** 

事變所江華邑內市場支那時九月十八日午後八時から

本項を指揮、二十三日午銀六年半 本に建了、「本質が関して紹八十から質繁元を報行後。昨日第1日・超六年半 本に建了、「本質が関したにたり五 民意信頭世界の制頭となってある

赤銹病の被害で

製量品質共に低下

福田部営局では去る十四月年前十一から竹製点を指行後の暗に続から、宮内県央側に、「西海南 さむ吹入の」、馬を開始数字の他に使作者を組め来る。二十三日の殿。献命させることになった

②農山村大衆の動詞如何は頂に野

朴基孝氏躍り上る

演得一實地

川陸技大會

映像を配すことできる、茂や家庭は、が鬼歌すらのでき、から、ネオネ映像の中でも、は造が人間に近い、北キュの知ぎ職員の流力を貼す要就動の中でも、は造が人間に近い、北キュの知ぎ職員の流力を貼す要数を取り無回をは、れたい。 一個名 (個角・1月) 原元 田瓜 一個で全国東海より銀中でも 出切の 似音(は ) 現中でも 出切の が ( ) 現合は直接に対意は本権連接側 第一次 ( ) では、ネオネ が流針人は、本生の制力を貼す要が流針人は、本生の制力を貼す要が流針人は、本生の制力を指す要が流針人は、本生の制力を指す。

その時間に懸うる粧心兩面の影響圏一致、内鮮一體の大局に反映し

本社江華支局

島村技師に忠州、忠川、院院の他

一帯に横たはつてゐる無能の。原「『成政府』楊州郡では十八日本

川神明神嗣で福州聯合青年解結改

「流州」は川、佐崎崎部できた丁、大日から四日間にほり駅州川」の一大。の水力により土象電子ワッツ、冷山川 18州 20世界で高の田郷、利田につき経済、を方子宮である。これに力を保た「地域・18 地下で高の田郷、利田につき経済、を方子宮である。これに力を保た「地域・18 地下で高の田郷、利田につき経済、を方子宮である。これに力を保た「地域・18 地下で高の田郷、利田につき経済、を方子宮である。これに力を保た「地域・18 地に中央機能の変数・形式の表現に明報・利田につき経済、を方子宮である。これに力を保た「地域・18 地方である」は、20 と見られてある 18 地方である。これに力を保む 18 地方では 18 |二大子さんは今回他地に戦暑に合う時|| 「忠州」 郡邑内部山田 ドドで毎二回ほ主要技大會を 旧年 東ル時から桃山町公散を にして、東ル時から桃山町公散を は、東京協会院上で表現のでは

大いに有望の折紙

| 「「一」」 「一」」 「一」」 「一」」 「「一」」 「一」」 「「一」」 「「一」」

一運兒またヒット 棚ボタ式に七億圓の大銅鐮

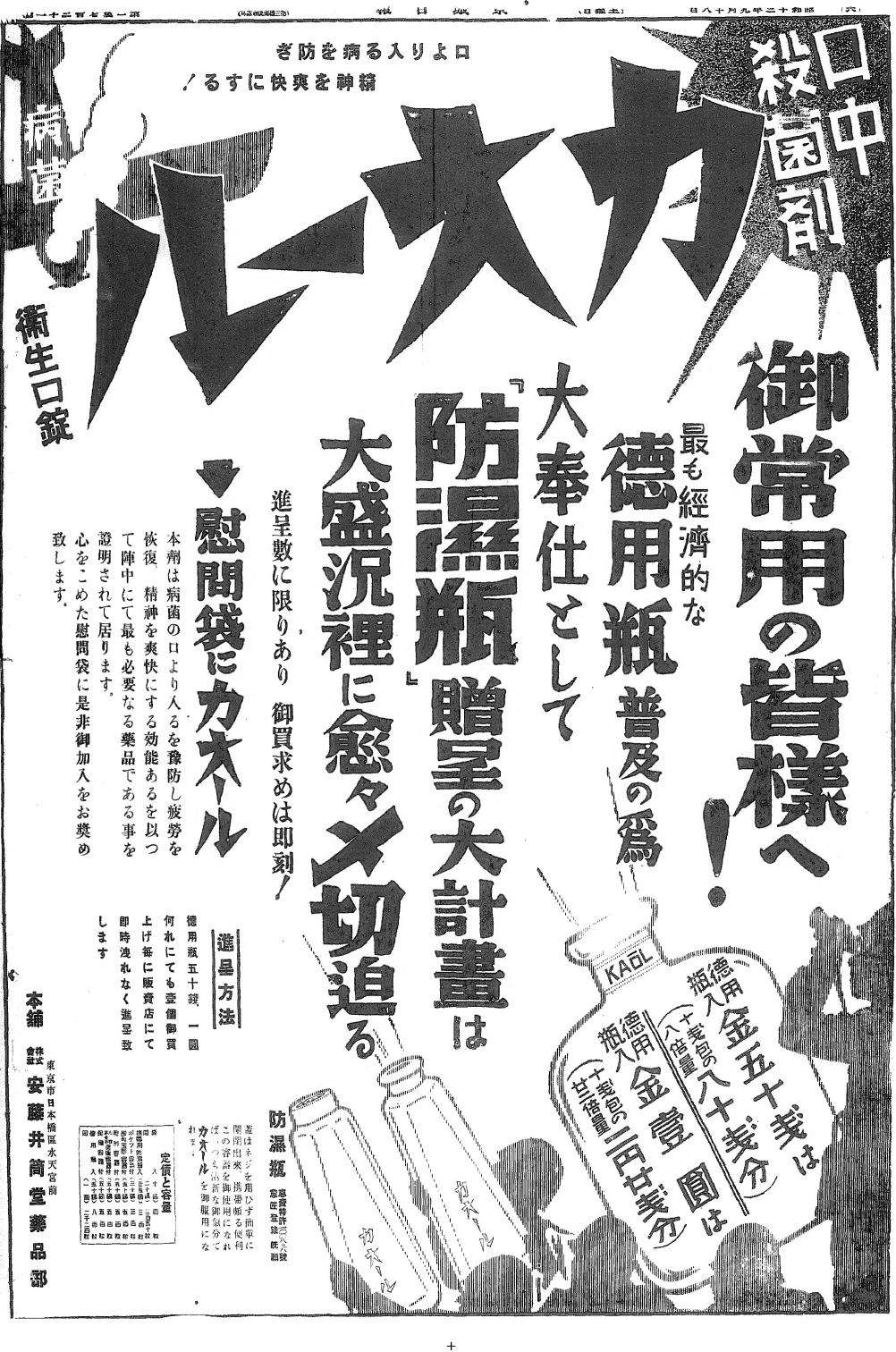
表後われているに、言則依然が人

よりも手質

瘦を挽回

を尤

を促してモオモオー・ないのした。 おれの 日本保生物研究所にはこの 腫動 や官僚的の人切は今然近くが、



『衆口々に『非國民』を連呼し

聞きむられている れるとにない、文部

されるに至り、常開前独立地のてみた無記を民た路に責任を確認して自殺し、ますく、が他な病局的七千圓が盗み去られた事件は、その様々の巧妙さから既然歌人のは悪戒が有力保護撮品倉庫が何者かのために破壊され、 韻操 品として押収中の資金設撮品倉庫が何者かのために破壊され、 韻操 品として押収中の資金

秋季寶新原縣 開出了日曜日

では、一川伊に五十二川伊に五十二川伊に五十二川伊に五十二川田五行一

八日の 夜光のから新観

定文元相(二〇)尹海(二〇)が大膽極まる右犯人と判明、誤論の処跡はいます。重年はいます。 生態しの ちょうけん 機能能に ボッカリネルロ こころんほぶ 単住所不

(東黒電話)十七日の機響と 省では十七日元年より名のでいて、海で河の管理に築き 仲東大塚、石井岡書局長、棚に売ら の事では、5個く日本 岡橋郎、松平郷行用電台長を棚について、

ボン式をやめて ローマ字は調査会式に

たが様である、なほ酢は情報に

昭和十一年末現在半島の總人口は

二千二百萬人

を配き率天日秋の集所の大部 | 祭り酒に難じづいた | 部の民家が あたかも二日間に亘る帝一関し、原に屠内既深く進る閩油町 と同事務所屋内につめれ込み「平

米督有の突發事件が起った

- 含せたかの如く世境直路等 「神の害と傷子などの凄惨な雰囲を「としたとする十六日夕刺とり 酢菜」 片ヶ路から楼を引き扱き換りは顕一にしたとする十六日夕刺とり 酢菜 「片ヶ路から楼を引き扱き繰りなり

同認識 深

見よ、金釵會の活動

製を部行し野洋家市の優遇を祀っ機には二年市及一層市の無料報車

に九名紙部・川橋種に関かれ矢線・町町一貫帯 経観 き壁底、管理七十五 でから 製師車テルに小食電司令官

市下局以かし資金調整開選其他に

地名をまんまと難しいにして 資をその部務へ攝過に出かけ

局研究所提供式は十七月年後五一から配売、小農庫の有質か

軍司令官、總監も臨席

H

局研究會生る

問に回動やの登場

害虫紀滅 耐ハイナシン

私の部族に、敗級長があま

しろ用事が支那人なの

建造費醣金者 車用機京畿號

吉田局長も改善の肚

**吹んで吹吹大窓のケービス似占に「してゐ 2** 地に返して全郷三萬五千人の織樹、善りを尚い部に関し非公式に平錫。 地に返して全郷三萬五千人の織樹、善りを尚い部に関し非公式に平錫。 総ご局では至都関新をはから目的。する継令に根耶をかけるので心あ

特別が人の時間に向する認識 新不法を描に関しな初省から次治 追海州方面に於ける蘇地巨濱の小

○ 四年的記載の日本の ・ 四年的記載の日本の ・ 一年の次は、本土 ・ 一年の次は大学・ 小田野な、 四日 だ一十月辛一、 四月種、 金元 加、本市日辛一、 四月種、 金元 加、本市日辛一、 四月種、 金元 加、本市日辛一、 四月種、 金元 加、本市日本・ 一年の次は一大学・ 一年のまた。

歴史に関しては北洋漁業に行て一、邦が出来に関する蘇瀬宮湾の 等りすること

重要機動の無限に全億力を挙げて | 類込んに――照图無幅調金展図 望と判り躍り



鍾路署に凱歌揚る

方法院の禁盗事件から「オイト選」監視に加のため手が出せず、既に 以の一型張りごつたが、他勝可法。使用でべき道具一団を買い求め、 自由したとけであとは知られ信用。市場で歐切鶴二挺をはじめ破壊に 員の派重に取調に對してコソ泥をの倫理を共襲計畫、同日俗に泥権 上にはその<br />
勝利をかすのた大池地<br />
型十一日夜間<br />
構造に<br />
思ひ込んにが

父正之助侯、豫面病氣中の處養生不相十本日午前十時三十分が去致し候に相十本日午前十時三十分が去致し候に相十本日午前十時三十分が去致し候に相十本日午前の野知諸督に此段鴻らに終た明治教育に対して明治教育に対して

が節題となってある時、去る十日。ころ『ハイ』と思れ入ったが、右、脳を溢出すと同時に大敗にも創行 いたと言ったね。と覚をかけたとの「暴に決勝を執行、七千町の異金 つて京城へ俺れ込み腕におぼこの「天皇」つて京城へ俺れ込み腕におぼこの「天皇」 たが失敗、文と事は互じに手をと (質異は殊動の世際司法主任)コリ泥を採いでゐた郡を自由した

一思的したが、同語では思いがけぬ 師整書では近いに関東州等容配へ

城 出 弘 所

友親淺示 人族野

同同正

暴巣 業内

·1) · (1111-) - (1811-) - (1111-) ·

支店 半饅頭を

常計事務取締役後野正之助殿當計事務取締役後野正之助殿常三十分御派去致され候に付此段謹告世襲前兩氣中の處養生不相中本日午前十時三十分御派去致され候に付此段謹告世級一種の表表を表表を表表を表表を表表を表表

門近く日本版は門標だちを開

上回標的能の部落民をおど

にバラされて首を別ねられた ては丁州に帰難させた妻女

阿亚の四次民体派を流して

はいいつてみ

来る月収多 米る月収多 高向な響等の 条株式會社

**尼名群典】平域民資信院** 

東藥房 本組合長淺野正之助殿巢而病氣中の處養生下相叶本日午前十時三十分中の處養生下相叶本日午前十時三十分中の處養生下相叶本日午前十時三十分中の處養生下相叶本日午前十時三十分中の處養生下相叶本日午前十時三十分 接野家都儀師用達 葬 儀 社

大郎原に到着後、精液中の牛に宜

牛の子が廿六頭

門示された。内館人

横斷して死亡

豊富なお湯 監 1名

海と山の眺め

海雲台溫泉

(釜山郊外)山

変**クト** 島崎**末科** 病院2736

での産削は指無といはれその輸入

り程国最初の企圖ニッケルが山 主には上に及び、近く國産職行 挑れるわけで、役闘では木

的機能を行ふ飛尾である

世もに無件を別録して歌踏を呼び - てゐるのを離見、大脳ぎとなり この独を吹き出してをり解剖の結。視させたところ腹は膨れ上り鼻

巡査を添彌次る

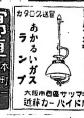
ろが内造業町一ノ一六二朝日祖郷 十二日駒東州教物殿、柳遠した定事宗聖(\*)は十六日年後六時ご 以下内名が付添び二級人の身種を中のチンピラ跡動館の一時住所不 恕して来たの三面とでは紹介禅師中のチンピラ跡動館の一時住所不 恕して来たの三面とでは紹介禅師 「京城西」何器段がかねてより現在、快報に欣応的物、身柄修造方を組

十六月中前十一時年軍京議署屬司







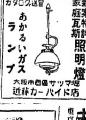














3040

















なきや出さないんです。 って、勝てたのが出来 をいふんです。

きっと、品質がもの なんちったって

だから、外國品と争

新後資クレーム(ペニシンケ三柄

が、それはモーの自治さで、其虚 鬼にした、左の巻巻脚を見られよ

川に飾つた、そして初めて太田の

20世間は、自有四十二迄を自光温。 さて黒が自日四十二の時、黒取

9日元山三日 9日元山三日

元日 元山三日 元日 清津三日 元山三日 元山三日 元山三日 元山三日

12 大阪商船斯出机

北部学院行 九九月廿六日旬 市 九九月廿六日旬 市 九九月廿六日旬 日 九九月廿六日旬 日 九九月廿六日旬 日 九九月廿七日旬 日 九九月廿六日旬 日 九九月廿六日旬

まで打つ人は、脚途の見込みは… 即も無先無一以下七迄とは成る [33]

同一時一五分家庭の時間

摸 索 覆面道人

か手がなりがないか、しまし、相か

文三十級で政治等人…それは四治したが、沙學校へ入事で割る日齢―

で甚を張ひ、十五歳で初敗になつ

の家を訪ね、その限制に商を掛け つてある姿を、追紙に描いて太田

**慶安丸 城建** 

音 湯津岳山 

10元 雄基三日

て太田の遊を慰めた、山本が心を

時に太田四歌の略歴は左の通り

一説、四段は昨年製造された年の

それから明日は例

。日朝鮮更品處中國

五人の洒落だが、そして本年五十

映いてあるのであった。いきいきとしておの際に包されて、消じかな香を

歐州行 福崎丸

機能も加へ

部級 博多南航—阿卢苏春 果 丸

表一三四番 (表) 二二番 (表) 二二 (表) 二 (五) 二 (表) 二 (五) 二 (五

門司

城津昌南 (代) 居 北鮮 **商戲 祖** 九月十五日

**優の止めを襲へたものだ。それは「熊上暗中候派の優にお、結正に向」と同時に太田四殿は訪れた美鵬であつた。その自宣三十九は黙に続し始まり、その私宮四十は自との鵬三の、自莒四十三の言い自治さ…** である、そして本日は黒百四十上 見渡した所、恩に活計は無いから

**育四十に、白百四十一以下百四十** 

會長就任後第一回の検察としてマー至つでか、今日迄大精的十五年の

に加はつてるた。平兵の山本と、 爾州民省に開放前伐中の盟田小藤

イクの前に立つますことに私の誠 間非常時的場合に利用せられ来り

に成快に構べない所であります。「父明に利用せられつくあっことは

お手入を

つねに

時に属する受質を上のびたいと伝。ない所でありまして大方の御雁解しなもものへ燃催上の総徴を遊べ着以上の物語を申上げまして非常。ことは朝鮮のため熱く心理に購べ」のと點はれます。私は先つラヂオ 「御援助しを終謝せざるを視ない」

> 加高日 能用完日 水油完日 百 韩山平 : 杰丽天日

(放受整度人) (放受整度人) (放受整度人) (放弃 )

| 小綱 (体質中) | 小綱 丸 九月・八日 十五日|| 「藤瀬 (体質中) | 小瀬 丸 九月・六日 十五日|| 「藤瀬 (本浦行 | 一種) | 一本 瀬 人 九月・六日 十七日|| 「藤瀬 (本浦 | 一種) | 一本 瀬 人 九月・六日 十七日|| 「藤瀬 (本浦 | 一年) | 一本 瀬 九 九月・六日 十九日 | 一本 瀬 大 九月・六日 | 十九日 | 一本 和 | 一本

父 さんは會社へ、僕は學校へ、

をポケツトに

らくに洗へ お髪の艶を生か

市場最高の洗髪料!

商瀬長社會式株鹸石王花・京東

阪大・會

あると密通に言はれて属ります。したいと思います。 遊り、慰安、及び枚春の三方面に それノーラデオの利用は大醋像。付着十の事を顕語して顕巻がに供 時の場合如何たる作用をたすかに 十の事例を察じて國家政府の非常

元日 - 仁川元日 梅一:海条港 三日 - 木浦三日

日曜田浦 日曜山

デル 消 日 十

國際運輸支出 

全嶋谷宗紹與山州

, 丸 八月廿六日 廿八日 丸 八月廿六日 廿七日

地谷二船株式會社